

中道往還(煮貝の道) 第5回 狩宿の下馬桜～JR東海道線吉原駅

- ・開催日 2016年9月14日(水)
- ・コース 狩宿の下馬桜(トイレ) → 北山地区中道往還旧道 → 浅間大社(昼食、トイレ)～バス移動～富士市役所 → 吉原宿 → JR吉原駅
- ・距離 約17Kmm (標高差約400mで緩やかな下りです)
- ・解散 JR吉原駅発 15:30頃
- ・担当者 多賀純夫 大嶋俊壽

煮貝が通った道、中道往還は山梨県側から静岡県に入ると根原、人穴、上井出、大宮を経て吉原で東海道と合流します。前回(第4回)で上井出を通過しました、その後の詳細な経路は判っていませんが、富士宮市教育委員会の資料に北山付近と大宮付近(浅間神社)での中道往還の旧道を表したものがありませんでした、これらを最短で結ぶコースが概ね中道往還と思われる。現在の道路に当てはめると県道75号、71号(清水富士宮線)、県道414号(朝霧富士宮線)、国道139号線を経て旧東海道(現在の県道171号)と合流、吉原宿に至ると推定されます。富士宮市の資料で明らかになっている部分を尊重し、この推定コースを歩きます。昼食には浅間大社で富士宮名物、B-1グランプリ第1回、第2回連続優勝の富士宮焼きそばを楽しむこともできます。当初の見込みより距離がかなり長くなってしまったので、途中一部を中抜きしバスで移動します。吉原宿は古くは海岸沿い(現在のJR吉原駅付近)の元吉原にありましたが、度重なる津波などの災害により次第に内陸側に移動し、現在の本吉原に場所を移しました。そのため道路が北側に曲がり、富士山が街道の左側に見えるようになりました。藤沢「南湖の松原左富士」と並んで東海道五十三次「吉原左富士」として知られるようになりました。全体的に街中歩きが中心となりますが、石仏、石碑など旧街道の痕跡、門前町、宿場町の雰囲気を楽しみながら歩くことができます。

